

千代田中通信

【目指す生徒像】

- 自分たちで創り出そう！
- 「こうどう」する生徒
- 絆を深める生徒



☆ 14名の新生を迎えて、令和7年度がスタート ☆

今年度、本校には74名の新生が入学し、全校生徒244名で新たな一年が始まりました。本校が目指す生徒像は、「自分たちで創り出そう！『こうどう』する生徒、絆を深める生徒」です。今年度のキーワードは「つなぐ」。生徒一人一人の「心」や「思い」をつなぎ、それぞれの持ち味を活かしながら、温かい学校づくりを進めていきます。さらに、学校と地域が手を取り合いながら、千代田の絆をより深めていきたいと考えています。



【新生 誓いの言葉】

地域の皆さまには、これまでと変わらぬ温かいご支援をいただきながら、ともに子どもたちの成長を見守っていただけましたら幸いです。どうぞ今年度もよろしくお願いたします。1学期も後半となりましたが、「学校要覧」にお示しした指導の重点を踏まえて、これまでの学校の取組や子どもたちの様子をお知らせいたします。

異学年(縦割り)全校道徳 ～「自分たちで創る」学校を目指して～

本校で初めての取り組みとして、全校で異学年（縦割り）による道徳の授業を行いました。今回の主題は「自分たちで創り出す」。教材には、紛争を乗り越えながらサッカーを通して友情や希望を築いたルワンダの少年たちの実話を取り上げました。



【意見交換をリードする上級生】

この授業を通して、生徒たちは「よりよい学校や集団は、自分たちの行動で創っていける」という意識をもち、年齢の違う仲間との対話から、多様な考えや感じ方にふれる貴重な学びを得ました。

授業では、上級生がリードしながら意見交換を行い、学年を越えたつながりや安心感も育まれました。一人一人が付箋に「思い」を書き出し、模造紙に貼ることで、全校の「こうどう」の輪が広がっていくような温かな時間となりました。



【「思い」をつないだツリー】

最後には、「これからの学校生活をどうしていきたいか」という振り返りを行い、生徒たちは自分の成長や気づきを言葉にすることで、考えを深めることができました。

小中連携・地域クリーンキャンペーン ～清掃活動を通して、心をつなぐ小中の絆～

千代田小学校と初めての「小中連携・地域クリーンキャンペーン」を実施しました。この活動は、自分たちの通学路を自分たちの手できれいにしようという取組で、小学生と中学生が同じ班になって清掃活動を行いました。



【環境委員による説明】

通学路に落ちているごみを拾いながら、「地域の一員として何ができるか」「人のために動くことの意味」を感じ取った子どもたち。中学生がリードしながら、小学生に声をかけたり、一緒にゴミの分別を考えたりと、自然と“こうどう”と“絆”が育まれる時間となりました。

清掃を通じて、勤労と奉仕の精神、自分も社会の役に立てるという実感を得た様子でした。今後もこのような地域とつながる学びの場を大切にしながら、子どもたちの豊かな心と行動力を育てていきたいと考えています。